

令和3年度アユ放流の取組について

令和3年度の県内河川の稚アユ放流は、4月5日から開始し4月中にほぼ終了しました。

放流量は、五ヶ瀬川水系（北川・祝子川含む）3,900kg、耳川水系 3,000kg、一ツ瀬川水系 3,400kg、大淀川水系 3,600kg、広渡川・清武川その他全河川で合計15,900kg（159万尾）となりました。

放流サイズは例年と同じく10gサイズですが、今シーズンの稚アユについては、初めて、連合会の養殖委託業者（あゆの是則）が海産稚アユを親魚として養成し、採卵・育成に成功したことから、海産系人工産稚アユ（F1）を全河川に放流しました。これによりアユ資源回復と遊漁の追いについて期待されているところです。



（写真：綾北川での稚アユ放流状況 令和3年4月）